



Espacenet

Bibliographic data: JP 2002109395 (A)

SYSTEM AND DEVICE FOR ACQUIRING CONTENTS

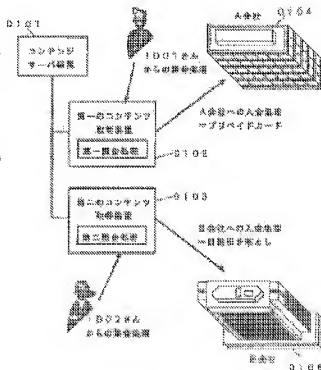
Publication date: 2002-04-12
Inventor(s): ISHIDA TATSUYA +
Applicant(s): MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD +

Classification:
 - international: G06F12/14; G06F21/24; G06Q20/00; G06Q30/00; G06Q50/00; H04N7/16; H04N7/173; (IPC1-7): G06F12/14, G06F17/60, H04N7/16; H04N7/173
 - European:

Application number: JP20000293178 20000926
Priority number (s): JP20000293178 20000926

Abstract of JP 2002109395 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To use plural types of contents acquiring devices about a contents server device which distributes the contents and to enable these contents acquiring devices for carrying out charging processes which differ from each other.
SOLUTION: This contents acquiring system includes a contents server device, which stores the contents and two or more contents acquiring devices which take the contents out of the contents server device. Thus, the contents acquiring devices can carry out charging processes which are differ from each other.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-109395

(P2002-109395A)

(43) 公開日 平成14年4月12日 (2002.4.12)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テラコード (参考)
G 0 6 F 17/60	3 3 2	G 0 6 F 17/60	3 3 2 5 B 0 1 7
	Z E C		Z E C 5 B 0 4 9
	3 0 2		3 0 2 E 5 B 0 5 5
	4 0 0		4 0 0 5 C 0 6 4
12/14	3 2 0	12/14	3 2 0 A
審査請求 未請求 請求項の数13 O L (全 20 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2000-293178(P2000-293178)

(22) 出願日 平成12年9月26日 (2000.9.26)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 石田 遼也

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

(74) 代理人 100109553

弁理士 工藤 一郎

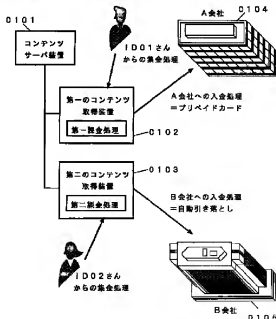
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 コンテンツ取得システム及びコンテンツ取得装置

(57) 【要約】

【課題】従来課金処理などを単一化しているため、複数の課金処理体系を利用するサービスの多様化が困難となっていた。従って、多数のコンテンツプロバイダーが提供するコンテンツを要求に応じて提供するビデオオンデマンドないしは、さらに文字情報、音声情報、動画情報、データなどを複合的、かつ混合して提供するサービスなどの課金処理が困難であった。

【解決手段】コンテンツを格納するコンテンツサーバ装置と、前記コンテンツサーバ装置に格納されているコンテンツを取り出す2以上のコンテンツ取得装置を有するコンテンツ取得システムであって、前記2以上のコンテンツ取得装置によって、お互いに異なる課金処理を可能とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】コンテンツを格納するコンテンツサーバ装置と、前記コンテンツサーバ装置に格納されているコンテンツを取り出す2以上のコンテンツ取得装置を有するコンテンツ取得システムであって、前記コンテンツサーバ装置は、コンテンツを格納するコンテンツ格納部と、前記コンテンツ取得装置からのコンテンツ取得の要求を示す情報である要求情報を受け付ける要求受付部と、前記要求情報が示す要求に対応するコンテンツを前記コンテンツ格納部から取り出すコンテンツ取得部と、前記コンテンツ取得部が取得したコンテンツを当該要求情報を出したコンテンツ取得装置に送出するコンテンツ送出部とを具備し、前記2以上のコンテンツ取得装置のうちの第一のコンテンツ取得装置は、前記コンテンツ送出部が送出したコンテンツを受信するコンテンツ受信部と、前記コンテンツ受信部が受信したコンテンツに対応した第一の課金処理を行う第一課金処理部とを具備し、前記2以上のコンテンツ取得装置のうちの第二のコンテンツ取得装置は、前記コンテンツ送出部が送出したコンテンツを受信するコンテンツ受信部と、前記コンテンツ受信部が受信したコンテンツに対応した第二の課金処理を行う第二課金処理部とを具備することを特徴とするコンテンツ取得システム。

【請求項2】請求項1記載のコンテンツ取得システムを構成するコンテンツサーバ装置。

【請求項3】コンテンツを格納するコンテンツサーバ装置からコンテンツを取り出すコンテンツ取得装置であって、前記コンテンツサーバ装置が送出したコンテンツを受信するコンテンツ受信部と、複数種類の課金処理を行う課金処理部と、予め決められた条件に従って、前記課金処理部で行うべき課金処理を決定する課金処理決定部と、前記課金処理決定部で決定した課金処理を行うことを前記課金処理部に指示する課金制御部とを具備することを特徴とするコンテンツ取得装置。

【請求項4】前記コンテンツ受信部がコンテンツと当該コンテンツの属性を示す属性情報を受信し、前記課金処理決定部は、課金処理の種類を示す課金処理種類識別子と属性情報とを対に管理する課金制御情報管理手段と、前記コンテンツ受信部が受信した属性情報に対応する課金処理種類識別子を取り出す識別子取得手段とを具備し、前記課金制御部が前記課金処理決定部が取り出した課金処理種類識別子に対応する課金処理を行うことを前記課金処理部に指示することを特徴とする請求項3記載のコンテンツ取得装置。

【請求項5】前記コンテンツ受信部が複数のコンテンツ取得手段を具備し、前記課金処理決定部は、コンテンツ取得手段を識別する取得手段識別子と課金処理種類識別子とを対に管理する課金制御情報管理手段と、前記コンテンツ受信部がコンテンツを受信したコンテンツ取得手段の識別子である取得手段識別子を取り出すコンテンツ識

別子取得手段と、前記コンテンツ識別子取得手段で取得した取得手段識別子と対になった課金処理種類識別子を取り出す識別子取得手段とを具備し、前記課金制御部が、前記課金処理決定部が取り出した課金処理種類識別子に対応する課金処理を行うことを前記課金処理部に指示することを特徴とする請求項3記載のコンテンツ取得装置。

【請求項6】コンテンツ取得者を識別する取得者識別子を入力する取得者識別子入力部をさらに具備し、課金処理決定部は、取得者識別子と課金処理種類識別子とを対に管理する課金制御情報管理手段と、前記取得者識別子入力部から入力した取得者識別子と対になった課金処理種類識別子を前記課金制御情報管理手段から取り出す識別子取得手段と、前記課金制御部が、前記識別子取得手段で取得した課金処理種類識別子が示す課金処理を行うことを前記課金処理部に指示する課金制御情報管理手段とを具備することを特徴とする請求項3記載のコンテンツ取得装置。

【請求項7】（条件によって、自動的に認証手段を切り替える）コンテンツを格納するコンテンツサーバ装置と、前記コンテンツサーバ装置に格納されているコンテンツを取り出す2以上のコンテンツ取得装置と、前記コンテンツ取得装置から個人認証のための情報である認証情報を受け取り、個人認証を行い、認証結果を前記コンテンツ取得装置に送信する2種以上の認証装置と、を有するコンテンツ取得システムであって、前記コンテンツサーバ装置は、コンテンツを格納するコンテンツ格納部と、前記端末装置からのコンテンツ取得の要求を示す情報である要求情報を受け付ける要求受付部と、前記要求情報が示す要求に対応するコンテンツを前記コンテンツ格納部から取り出すコンテンツ取得部と、前記コンテンツ取得部が取得したコンテンツを当該要求情報を出した端末装置に送出するコンテンツ送出部とを具備し、前記2以上のコンテンツ取得装置のうちの第一のコンテンツ取得装置は、前記コンテンツ送出部が送出したコンテンツを受信するコンテンツ受信部と、認証情報を入力する第一の入力部と、前記第一の入力部で入力された認証情報を前記認証装置に送信する第一の認証情報送信部と、前記認証装置からの認証結果を受信する第一の認証結果受信部とを具備し、前記2以上のコンテンツ取得装置のうちの第二のコンテンツ取得装置は、前記コンテンツ送出部が送出したコンテンツを受信するコンテンツ受信部と、認証情報を入力する第二の入力部と、前記第二の入力部で入力された認証情報を前記認証装置に送信する第二の認証情報送信部と、前記認証装置からの認証結果を受信する第二の認証結果受信部と、前記認証結果を処理する第二の認証結果処理部とを具備し、前記2種以上の認証装置のうちの第一の認証装置は、前記第一の認証情報送信部が送信した認証情報を受信する第一の認証情報受

信部と、前記第一の認証情報受信部で受信した認証情報を処理して、認証結果を得る第一の認証結果取得部と、前記第一の認証結果取得部で取得した認証結果を前記第一のコンテンツ取得装置に送信する第一の認証結果送信部とを具備し、前記二種以上の認証装置のうちの第二種の認証装置は、前記第二の認証情報送信部が送信した認証情報を受信する第二の認証情報受信部と、前記第二の認証情報受信部で受信した認証情報を処理して、認証結果を得る第二の認証結果取得部と、前記第二の認証結果取得部で取得した認証結果を前記第二のコンテンツ取得装置に送信する第二の認証結果送信部とを具備することを特徴とするコンテンツ取得システム。

【請求項8】（条件によって、自動的に認証手段を切り替える）請求項7記載のコンテンツ取得システムを構成するコンテンツサーバ装置。

【請求項9】（条件によって、自動的に認証手段を切り替える）→ 方法、媒体

コンテンツを格納するコンテンツサーバ装置と、前記コンテンツサーバ装置に格納されているコンテンツを取り出すコンテンツ取得装置を有するコンテンツ取得システムを構成するコンテンツ取得装置であって、前記コンテンツサーバ装置が送出したコンテンツを受信するコンテンツ受信部と、認証情報を入力する入力部と、複数種類の認証処理を行う認証処理部と、予め決められた条件に従って、前記認証処理部で行うべき認証処理を決定する認証処理決定部と、前記入力部で入力した認証情報を用いて、前記認証処理決定部で決定した認証処理を行うことを前記認証処理部に指示する認証制御部とを具備することを特徴とするコンテンツ取得装置。

【請求項10】クレーム3の方法コンテンツを格納するコンテンツサーバ装置からコンテンツを取り出すコンテンツ取得方法であって、前記コンテンツサーバ装置が送出したコンテンツを受信するステップと、予め決められた条件に従って、複数種類の課金処理の中から行うべき課金処理を決定するステップと、前記決定された課金処理を実行するステップと、からなるコンテンツ取得方法。

【請求項11】クレーム3の媒体コンテンツを格納するコンテンツサーバ装置からコンテンツを取り出すコンテンツ取得手順を実行するための記録媒体であって、前記コンテンツサーバ装置が送出したコンテンツを受信する手順と、予め決められた条件に従って、複数種類の課金処理の中から行うべき課金処理を決定する手順と、前記決定された課金処理を実行する手順とを実行するためのプログラムをコンピュータ読み取り可能に記録した記録媒体。

【請求項12】コンテンツを格納するコンテンツサーバ装置からコンテンツを取り出す際のコンテンツ取得のための認証方法であって、複数種類の認証処理を準備するステップと、認証情報を取得するステップと、認証情報

に基づいて予め決められた条件に従って、準備した複数種類の認証処理の中から一の認証処理を決定するステップと、決定した認証処理を実行するステップとからなる認証方法。

【請求項13】コンテンツを格納するコンテンツサーバ装置からコンテンツを取り出す際のコンテンツ取得のための認証方法プログラムを記録した記録媒体であって、認証情報を取得する手順と、認証情報に基づいて予め決められた条件に従って、複数種類の認証処理の中から一の認証処理を決定する手順と、決定した認証処理を実行する手順とを実行させるためのプログラムをコンピュータ読み取り可能に記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】文字、音声、映像などからなるコンテンツの配信を受けて取得するシステムに関し、特に一体的に管理されるコンテンツ取得システムの中で、複数の異なる課金手段を利用可能なコンテンツ取得システムに関する。

【0002】

【従来の技術】ケーブルテレビ放送や、有料の衛星放送などにおいてはいわゆるペイパービュー方式でコンテンツを取得するシステムが実現されている。このシステムは、視聴したい番組などを選択して視聴すると、その視聴ごとに視聴料金が計算されて視聴者に課金されるというものである。従来この種のコンテンツ配信は複数のコンテンツプロバイダーが単一の事業者、例えば放送衛星を管理している放送事業者などにコンテンツを提供し課金処理はコンテンツの提供を受けた単一の放送事業者によって単一のビジネスルールすなわち、単一の課金処理によりおこなわれていた。従って、コンテンツプロバイダーは、ビジネスルールを付与したデータを配信する必要があることから、いずれかのビジネスルールを選択せねばならず、自由にビジネスルールや、運用会社を選別することが難しかった。

【0003】また、特開平8-292861号公報には、カラオケ端末の設置事業者が、配信された曲データの対価を支払う際、端末から前払いにするか、後払いにするか、何か月分支払うかなどについて選択することで、公衆回線網で結ばれた課金センターによる課金の異なる処理を可能とするものが記載されている。しかし、この課金センターは単一の課金センターである。この場合には、お金を先に支払うか、後で支払うかが違うだけである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従来課金処理などを単一化しているため、複数の課金処理体系を利用するサービスの多様化が困難となっていた。従って、多数のコンテンツプロバイダーが提供するコンテンツを要求に応じて提供するビデオオンデマンドないしは、さらに文字情報、音声情報、動画情報、データなどを複合的、かつ混

合して提供するサービスなどの課金処理が困難であった。

【0005】また、異なる課金処理を単一の課金センターに対して可能とするものは知られているが(特開平8-292981号公報)、課金処理自体を、複数の端末ないしは、複数の課金センターにて可能としたものはなかった(課金処理は単一の課金センターで行われている。)、多数の営業主が同一のコンテンツ配信、取得システム上で別個に課金処理を行うことが困難であった。

【0006】

【課題を解決するための手段】コンテンツを配信するコンテンツサーバ装置に対して複数種類のコンテンツ取得装置を利用可能とし、複数のコンテンツ取得装置は、それぞれお互いに異なる課金処理を行うことができるようになった。従って、コンテンツプロバイダーはビジネスルールを予め選別する必要がなく、コンテンツ取得者の要求に対し、自由にビジネスルールである課金処理方法の選別が可能となり、顧客の利便性と、コンテンツプロバイダーのビジネスチャンスの拡大を確保した。また、課金のための認証もそれぞれお互いに異なる認証処理を行うことができるようにした。

【0007】

【発明の実施の形態】以下に本発明の実施の形態を説明する。

【0008】(実施形態1—概念)本発明の異なる課金処理を可能とするコンテンツ取得システムの概念を示すのが図1である。この図に示すように、コンテンツ取得システムは大きく、コンテンツサーバ装置0101と異なる種類の課金処理をすることができ2以上のコンテンツ取得装置とからなっている。そして、図1に示すように、第一のコンテンツ取得装置0102は第一課金処理と称される課金処理を行い、第二のコンテンツ取得装置0103は第二課金処理と称される課金処理を行う。この第一課金処理と第二課金処理とは異なる課金処理である。例えば、第一課金処理は、コンテンツを取得する者である識別ID0101さんからの集金処理を行い、集金したお金をコンテンツプロバイダーであるA会社0104へ入金するために必要な処理を行う。例えば、プリペイドカードによる支払いの処理を行う。第二課金処理はコンテンツを取得する者である識別ID0202さんからの集金処理を行い、集金したお金をコンテンツプロバイダーであるB会社0105へ入金するために必要な処理を行う。例えば、銀行からの自動引き落としの処理を行う。ここで、プリペイドカードによる課金処理と、銀行からの自動引き落としという課金処理は異なる課金処理である。そうすると、コンテンツサーバを管理している会社は単一であっても、コンテンツ取得装置ごとに異なる課金処理が可能であるので、サービスの多様化を図ることが容易となる。また、この場合に、コンテンツとコ

ンテンツプロバイダーは同一のもので、ID01さんとID02さんが対価を支払う会社が異なる場合もある。この場合には、コンテンツプロバイダーはX会社で、対価の支払いを受ける会社、すなわち運用会社はA会社とB会社ということとなる。ここで運用会社とは、商社系運用会社、金融系運用会社など、コンテンツを直接的に配信しないが、コンテンツプロバイダーなどに代わって課金処理などを行う会社である。コンテンツプロバイダーX会社は、二つの運用会社にコンテンツの運用を任せており、顧客は自分が利用しやすい運用会社からX会社のコンテンツを取得できるのである。

【0009】さらに、一つのコンテンツが複数のコンテンツプロバイダーによって提供されている場合もあり、その場合には、二つのコンテンツプロバイダーのための課金処理が同時に、又は連続的に行われる。二つのコンテンツプロバイダーからの一つのコンテンツの提供とは、一方のコンテンツプロバイダーの提供する動画像にバックグラウンドミュージックとして別のコンテンツプロバイダーが提供する音楽を流すような場合、一つのコンテンツプロバイダーが提供するドキュメント番組において、番組内で紹介される物事に関連する情報を文字情報として別のコンテンツプロバイダーが提供する場合など各種のものがある。

【0010】課金処理とは、コンテンツ取得に際して課金すべき額の算定や、算定した金額をコンテンツ取得者に対して請求する処理や、ないしは、その請求により支払われる金額をコンテンツプロバイダーに支払うために必要な処理の全部又は一部を意味する。例えば、課金額を算定し、課金すべき相手を選定し、その相手の銀行口座を取得し、銀行口座を指定して、その銀行に対して引き落としのための通知を行うことである。これらは、課金の手段が異なれば必ず異なる処理となる。課金の手段が異なる、すなわち、課金処理が異なるとは、プリペイドカードを利用するのか、銀行の自動引き落としを利用するのか、電子マネーで決済するのか、現金払いなのか、クレジットカードを利用するのか、などと言う。ここで、A会社0104、B会社0105は必ずしもコンテンツプロバイダーに限られず、コンテンツプロバイダーと契約して、料金の徴収を行う銀行、商社、その他の機関であっても良い。また、これらは、各コンテンツ取得者取得する者が個別にコンテンツプロバイダーとした契約を認識するための認証機関であっても良い。

【0011】(実施形態1—物)図2に示すのは、この実施形態のコンテンツ取得システム0200の機能ブロックを示すものである。コンテンツ取得システム0200は、コンテンツサーバ装置0201と、2以上のコンテンツ取得装置とからなる。コンテンツサーバ装置0201は、コンテンツを格納し、コンテンツをコンテンツ取得装置に対して取り出し可能としている。コンテンツの格納は、各種のコンテンツプロバイダーから提供され

るコンテンツを格納することができる。コンテンツサーバ装置は、コンテンツ格納部0204とコンテンツ取得部0206と要求受付部0205とコンテンツ送出部0207とからなる。コンテンツ格納部0204はコンテンツを格納する。要求受付部0205は、コンテンツ取得装置からのコンテンツ取得の要求を示す情報である要求情報0212を受け付ける。この要求情報は、例えば、コンテンツ取得装置を特定してコンテンツの送信を命令する要求命令と、対象となるコンテンツを特定するコンテンツ識別子とからなる。コンテンツ取得部0206は、前記要求情報が有するコンテンツ識別子で識別されるコンテンツを前記コンテンツ格納部0204から取り出す。コンテンツ送出部0207は、コンテンツ取得部0206が取得したコンテンツを当該要求情報を出したコンテンツ取得装置に送出する。

【0012】コンテンツ取得装置は、コンテンツ受信部と課金処理部とからなる。

【0013】前記2以上のコンテンツ取得装置のうちの第一のコンテンツ取得装置0202は、コンテンツ受信部0208において、コンテンツサーバ装置0201のコンテンツ送出部0207が送出したコンテンツを受信する。第一課金処理部0209は、前記コンテンツ受信部0208が受信したコンテンツに対応した第一の課金処理を行う。前記2以上のコンテンツ取得装置のうちの第二のコンテンツ取得装置0203は、同じくコンテンツ受信部0210において、前記コンテンツ送出部0207が送出したコンテンツを受信する。第二課金処理部0211は、前記コンテンツ受信部0210が受信したコンテンツに対応した第二の課金処理を行う。

【0014】コンテンツサーバ装置0201とコンテンツ取得装置とは、放送や、ネットワークなどを介して結ばれていて、各種通信形態でコンテンツなどをやり取りする。

【0015】課金処理の種類としては、例えば図9の課金処理種類識別子1から5で示されるようなものや、後課金と先課金、累計ポイントを蓄積するものと蓄積しないもの、電子マネーの利用をするものとししないものなど各種のものがある。

【0016】(実施形態1 処理の流れ) この発明の処理の流れを示すのが図9である。この図にあるように、まず処理のための入力があるまで待機し(ステップS0301)、入力があると、コンテンツの要求を示す要求情報の受付を行い(ステップS0302)、ついで、要求に対応するコンテンツを取り出し(ステップS0303)、取り出されたコンテンツを要求情報を出した相手に送出し(ステップS0304)、送出されたコンテンツを受信し(ステップS0305)、第一の課金処理を行うか判断し(ステップS0306)、第一の課金処理を行う場合には、受信したコンテンツに対応した第一の課金処理を行い(ステップS0307)、第一の課金処

理を行わない場合には、受信したコンテンツに対応した第二の課金処理を行う(ステップS0308)。なお、ここでは、処理の種類は第一のものと第二のものと二種類としたが、本発明は必ずしもこれに限られるものではなく、三種類以上の複数の処理を適用することができる。

【0017】(実施形態2) 図4は、コンテンツ取得システム0400に利用されるコンテンツサーバを示す機能ブロック図である。コンテンツサーバ装置0401は、コンテンツ格納部0402、要求受付部0403、コンテンツ取得部0404、コンテンツ送出部0405からなる。コンテンツ格納部0402は、コンテンツを格納する。コンテンツの格納は、各種の記憶装置を利用することができる。例えば、ハードディスク装置、DVD装置、テープ装置、RAM、ROMなどである。要求受付部0403はコンテンツ取得の要求を示す情報である要求情報を受け付ける。要求情報はコンテンツ取得装置から送られるが、必ずしもコンテンツを取得する装置とコンテンツの送出を要求する装置とは一致する必要はなく、第一のコンテンツ取得装置からコンテンツ取得の要求情報をコンテンツサーバに送り、コンテンツサーバはコンテンツを第二のコンテンツ取得装置に送出しても良い。要求情報は、ネットワークを介してコンテンツサーバに送られるが、場合により電話を用いたり、店頭で要求し、それをコンテンツサーバ装置0401に入力することも可能である。

【0018】コンテンツ取得部0404は、前記要求情報で示す要求に対応するコンテンツを前記コンテンツ格納部0402から取り出す。コンテンツ送出部0405に渡して、これをコンテンツ取得装置に送出するためである。コンテンツ取得部0404は一般的には記憶装置に格納されているコンテンツのアドレスからコンテンツを検索して、一時メモリに蓄積などしてコンテンツ送出部0405に渡す機能を有する。

【0019】コンテンツ送出部0405は、前記コンテンツ取得部が取得したコンテンツを当該要求情報を出したコンテンツ取得装置に送出する。ネットワークなどに対して接続されており、コンテンツに対して、場合により必要な符号圧縮を行って送信信号に変換する。圧縮信号としてはMPEGのトランスポートストリーム信号などがあ

【0020】(実施形態3) この実施形態は、条件によって自動的に課金処理を切替えるコンテンツ取得装置である。条件とは、コンテンツを取得する者、取得するコンテンツの内容、容量、コンテンツが最新の物か、最新でないか、コンテンツの取得形態が、視聴のみか、録画などの記録を含むものか、加工をも許すものか、コンテンツのプロバイダーはどこか、などに応じて定められている料金計算のための条件である。例えば、コンテンツを取得する者がAコンテンツプロバイダ会員の会員と

してコンテンツを取得する場合には、Aコンテンツプロバイター会社の課金体系に従った課金処理を行う必要があり、また、取得するコンテンツの内容が、高く料金設定されているものか低く料金設定されているものかによって異なる課金処理をしなければならない。

【0021】このコンテンツ取得装置は一つの装置で複数の課金処理をすることができ、実施形態1に記載した第一のコンテンツ取得装置、第二のコンテンツ取得装置として共通に利用できて便利である。(実施形態1は、実施形態3のコンテンツ取得装置を含む実施形態である。)

【0022】図5に示すのは、この発明のコンテンツ取得装置0500の機能ブロックである。このコンテンツ取得装置0500は、コンテンツ受信部0501、課金処理部0503、課金処理決定部0504、課金制御部0502とからなる。コンテンツ受信部0501はコンテンツを格納するコンテンツサーバ装置から送出されたコンテンツを受信する。課金処理部0503は複数の課金処理を行う。課金処理とは前述のように、コンテンツ取得に対する料金の算定、コンテンツ取得者に対する集金のための処理手続、コンテンツプロバイターなどに集金した料金を入金するための処理手続の全部又は一部をさす。例えば、料金を算定し、そのコンテンツ取得者が予め登録してある銀行の口座とその料金、コンテンツ取得日時とを関連付けてメモリに蓄積することなどである。またこれに付随して、顧客であるコンテンツ取得者に関する情報をデータベースなどに蓄積する処理も含まれる。この情報は、コンテンツの取得に際して収集されるもので、取得をしたコンテンツの種類、取得の日時、料金、性別、住所、などである。これらを蓄積することでコンテンツプロバイターがどのようなコンテンツを提供すれば再度利用が見込めるかなどを推定する。

【0023】課金処理決定部0504は、予め決められた条件に従って、前記課金処理部0503で行うべき課金処理を決定する。課金制御部0502は、前記課金処理決定部0504で決定した課金処理を行うことを前記課金処理部0503に指示する。この指示により実際の課金処理が行われる。

【0024】(実施形態3 処理の流れ) この実施形態の処理の流れを示すのが図29である。この図に示すように、まず処理のための入力があるまで待機し(ステップS2901)、入力があると、コンテンツサーバ装置が送出したコンテンツを受信(ステップS2902)

し、ついで、予め定められた条件に従って、複数種類の課金処理の中から行うべき課金処理を決定する(ステップS2903)。予め定められた条件とは、例えば、顧客であるコンテンツ取得者ごとに定められたものである。ある顧客は、コンテンツ取得に際しては必ず特定の銀行の口座から自動引き落としするという条件などである。また、常に同じ条件でなくともよく、コンテ

ンツ取得装置でコンテンツ取得者がコンテンツ取得の際に選択した課金のための条件であっても良い。最後の決定された課金処理を実行して(ステップS2904)、処理を終了する。

【0025】(実施形態3 媒体) なお、このような処理を行わせるのはコンテンツ取得装置であるが、パーソナルコンピュータに上記手順を実行させるためのプログラムを読取可能に記録した記録媒体を用いると便利である。

【0026】(実施形態4) この実施形態は、課金処理を決定する際に、コンテンツの属性に基づいてどの課金処理を実行するかを決定を行うコンテンツ取得装置である。コンテンツサーバから送出されてコンテンツ取得装置に取得されるコンテンツには各種のものがある。文字情報、音声情報、静止画情報、動画情報、データ、などである。これらのものそれぞれに適用した課金をするためには、そのコンテンツの内容に応じて課金処理を行うのがよい。このコンテンツの内容として、コンテンツの属性を示す属性情報を利用すると便利である。属性情報とは、図8に例示するようなもので、データの種類、データの大きさ、作成者などによって類別される。

【0027】データの種類としては、例えば、コンテンツがデータから構成されているのか、静止画から構成されているのか、音声から構成されているのか、動画から構成されているのか、数値データから構成されているのか、またこれらの混合したものから構成されているのか、などがある。データの大きさに関しては、同図にあるように、1メガバイト未満なのか、それ以上で10メガバイト未満なのか、それ以上で100メガバイト未満なのか、それ以上で1ギガバイト未満なのか、1ギガバイト以上なのかなどである。コンテンツ作成者に関する属性情報としては、Aテレビなのか、Bテレビなのか、Cニュースなのか、Eリサーチなのかなどである。

【0028】コンテンツ提供者に応じて課金処理方法を異ならせることが可能となる。例えば、あるコンテンツ提供者のコンテンツ取得に対しては、現金決済又は電子マネーによる課金処理を採用し、別のコンテンツ提供者のコンテンツ取得に対しては、クレジットカードによる課金処理を行う、といった具合である。また、封切りから新しい映画であるコンテンツを取得した際には、銀行からの自動引き落としとし、封切りから一定時間経過している映画であるコンテンツを取得した際には、クレジットカードによる決済とするという具合である。さらに、上述のように、コンテンツのデータの種類、データの大きさ、作成者などにより、課金処理を、電子決済、クレジットカード決済、現金決済、電子マネー決済、プリペイドカード決済、銀行自動引き落としなどと異なる処理とする。

【0029】(実施形態4 機能ブロック)

【0030】図6に示すのは実施形態4の機能ブロック

の一例を示すものである。この実施形態のコンテンツ取得装置0600は、コンテンツ受信部0601と、課金処理部0602と、課金制御部0603と課金処理決定部0604とからなる。コンテンツ受信部0601は、コンテンツを格納するコンテンツサーバ装置から送出されたコンテンツを受信する。そのコンテンツは、コンテンツ自体の属性情報と関連付けられおり、この属性情報もコンテンツ受信部0601が受信する。課金処理部0602は複数種類の課金処理を行うことができる。

【0031】課金制御部0603は、課金処理制御手段0607を含む。課金処理決定部0604は、課金制御情報管理手段0605と識別子取得手段0606とを有する。課金制御情報管理手段0605は課金処理の種類を示す課金処理種類識別子と属性情報とを対にして管理している。対に管理しているとは、一対一に対応するようにテーブルとして保持していることや、課金処理種類識別子と属性情報とがリンク付けされていることなどをいう。識別子取得手段0606は、コンテンツ受信部0601が受信した属性情報に対応する課金処理種類識別子を課金制御情報管理手段0605から取得する。課金制御部0603の課金処理制御手段0607は、課金処理決定部0604の識別子取得手段0606が取得した課金処理種類識別子を取得し、この課金処理種類識別子が所す課金処理を行うことを課金処理部0602に指示する。課金処理部0602は、課金制御部0603の課金処理制御手段0607の指示を受けて、指示内容の課金処理を行う。

【0032】図7に示すのは、課金処理決定部0700の一例を示す概念図である。課金制御情報管理手段0701には、たとえば、属性情報として、テキスト、静止画、音声、動画、数値データがあり、それぞれに対して、課金処理種類識別子が1、2、3、4、5と対にして管理されている。識別子取得手段0702は、コンテンツ受信部から受信したコンテンツの属性情報として例えば静止画という属性を取得する。そうすると、識別子取得手段0702は課金制御情報管理手段0701からこの対で対にして管理されている課金処理種類識別子0702である「2」を取得し、この課金処理種類識別子0702を課金制御部に渡す。課金制御部は課金処理決定部の識別子取得手段から取得した課金処理種類識別子「2」に対応する処理を行うことを課金処理部に指示する。

【0033】図9に示すのは、課金処理種類識別子とその課金処理識別子に対応して行われる課金処理の具体例を示すものである。例えば、課金処理種類識別子「1」を行うことを課金制御部の課金処理制御手段から指示されると、A会社とコンテンツの配信について契約を行い、登録されたコンテンツ取得者の銀行口座から、コンテンツ取得の対面としての金額を自動引き落としするために必要な処理を行う。引き落としのために必要な処理

とは、引き落としと処理の全部または、そのために必要な処理の一部の両者を含む概念であり、必ずしも引き落としのために必要な処理のすべてを含むものではない。

【0034】自動引き落としのために必要な処理とは、自動引き落とし口座番号の取得、名義人とコンテンツ取得者との照合、引き落としを行うべき金額の算定、取得、口座に残っている金額が引き落としを行うべき金額よりも多いかの確認、など種々のものである。また、課金処理種類識別子「2」を行うことを課金制御部の課金処理制御手段から指示されると、コンテンツ取得装置に挿入されたデビットカードを用いた決済のために必要な処理（「必要な処理」の意義は、必要とするすべての処理を必ずしも含むものではない。以下同じ。）を行い、課金処理種類識別子「3」の場合には、無料にし、課金処理種類識別子「4」の場合には、B会社とコンテンツ配信について契約を行い、登録されたコンテンツ取得者の銀行口座から、コンテンツ取得の対面としての金額を自動引き落としするために必要な処理を行う。課金処理種類識別子「5」の場合には、C会社とコンテンツ配信について契約を行い、登録されたコンテンツ取得者の銀行口座から、コンテンツ取得の対面としての金額を自動引き落としするために必要な処理を行う。

【0035】（実施形態4 処理の流れ）図10に示すのは、実施形態4の処理の流れを示す図である。まず、処理のための入力があるまで待機し（ステップS1001）、入力があると、課金処理種類識別子をコンテンツの属性を示す属性情報と対にして保管し（すでに保管されている場合にはこの処理を飛ばしても良い。）（ステップS1002）、ついで、コンテンツの属性を示す属性情報を取得し（ステップS1003）、さらに、このコンテンツの属性情報に対応した課金処理種類識別子を取得し（ステップS1004）、課金処理種類識別子で識別される課金処理を実行して（ステップS1005）、処理を終了する。

【0036】（実施形態5）前記コンテンツ受信部が複数のコンテンツ取得手段を具備し、コンテンツ受信のために利用したコンテンツ取得手段に応じて課金処理を行うコンテンツ取得装置について説明する。コンテンツ取得装置は複数のコンテンツサーバインターに接続可能なで、そのコンテンツを格納しているコンテンツサーバ装置も複数の種類のものがある。そして、複数のコンテンツサーバ装置は、それぞれコンテンツ取得装置に対して異なる通信手段を介してコンテンツを渡す仕組みが採用されることもある。一方、コンテンツサーバ装置がコンテンツを複数の通信手段を介してコンテンツ取得装置に渡す場合もある。理由は、コンテンツの内容により必要な通信速度も異なるからである。

【0037】以上のことにかんがみるとコンテンツ取得装置がどのようなコンテンツ取得手段を採用するかで課金処理を異なる課金処理とすることができれば便利であ

る。ここでいう課金処理とはすでに図9に示した課金処理のようなものを言う。コンテンツ取得手段は例えば、コンテンツを取得するために利用された通信回線の種類により類別される。また、通信回線だけでなく、コンテンツ取得装置に備えられているコンテンツ取得のための信号入力ポート、入力した信号を処理するための信号処理回路、信号処理プログラムなどによっても類別可能である。

【0038】図11に示すのは、この実施形態のコンテンツ取得装置の機能ブロックである。このコンテンツ取得装置1100は、コンテンツ受信部1101と課金制御部1105と、課金処理部1104と、課金処理決定部1106からなっている。前記課金処理決定部1106は、コンテンツ取得手段1102、1103を識別する取得手段識別子と課金処理種類識別子を対に管理する課金制御情報管理手段1107と、前記コンテンツ受信部1101がコンテンツを受信したコンテンツ取得手段の識別子である取得手段識別子を取り出すコンテンツ識別子取得手段1109と、前記コンテンツ識別子取得手段1108で取得した取得手段識別子と対になった課金処理種類識別子を取り出す識別子取得手段1109とを具備し、前記課金制御部1105は、前記課金処理決定部1106が取り出した課金処理種類識別子に対応する課金処理を行うことを前記課金処理部1104に指示する課金処理制御手段1110を有している。課金処理部1104では、複数の課金処理を行うことができる。

【0039】図12に示すのは、コンテンツ取得手段を識別する取得手段識別子と各取得手段識別子と対応付けられる取得手段の内容の一例を示すものである。取得手段として、インターネット回線からの取得手段によって、コンテンツを取得したり、地上波放送からの取得手段によってコンテンツを取得したり、衛星放送、CATV回線、電話回線、可搬性媒体、ADSL回線などの取得手段によってコンテンツを取得する。なお、コンテンツ取得手段とは、必ずしも取得手段としての通信回線の種類のみで類別されるものでなく、前述のように他の類別もありえる。

【0040】例えば、この図12で示すインターネット回線によってコンテンツを取得した場合について処理の一例を図11を利用して示す。コンテンツ受信部1101で受信したコンテンツ取得手段の取得手段識別子「A」1102をコンテンツ受信部1101から、課金処理決定部1106のコンテンツ識別子取得手段1108で取得し、図13のように、取得手段識別子と課金処理種類識別子とを対にして管理している課金処理決定部1106の課金制御情報管理手段1107を利用して、課金処理決定部1106の識別子取得手段1109が、対応する課金処理種類識別子「1」を取得する。課金処理決定部1106の識別子取得手段1109が取得した課金処理種類識別子「1」は課金制御部1105に渡さ

れ、課金制御部1105は、課金処理種類識別子「1」で識別される課金処理を行う指示を課金処理部1104におこなう。

【0041】（実施形態5の処理の流れ）図14に示すのは、実施形態5の処理の流れである。この図にあるように、まず処理のための入力があるまで待機し（ステップS1401）、処理のための入力があると、取得手段識別子と課金処理種類識別子とを対にして保持する（すでに取得手段識別子と課金処理種類識別子とが対にして保持されている場合にはこのステップを省略することが可能。）（ステップS1402）、ついで、コンテンツを受信したコンテンツ取得手段の識別子である、取得手段識別子を取得する（ステップS1403）。その後、取得手段識別子と対になった課金処理種類識別子を取得し（ステップS1404）、課金処理種類識別子が識別する課金処理を実行し（ステップS1405）、処理を終了する。

【0042】（実施形態6）次に、コンテンツ取得装置にコンテンツ取得者を識別する取得者識別子を入力する取得者識別子入力部をさらに具備し、ここから入力される取得者識別子に応じて課金処理を行う実施形態6について説明する。本発明は、複数の課金処理を可能とすることで複数の課金処理体系を利用するサービスの多様化を可能とするとともに、多数のコンテンツプロバイダーが提供するコンテンツを要求に応じて提供するビデオオンデマンドないしは、さらに文字情報、音声情報、動画情報、データなどを複合的、かつ混合して提供するサービスを可能とする。

【0043】したがって、コンテンツプロバイダーと契約関係にある人のみがコンテンツ取得装置からのコンテンツ取得が可能である場合がある。その場合には、コンテンツを取得しようとする者は、自身が契約関係のあるだけであるかを明らかにするために取得者を識別するための取得者識別子をコンテンツ取得装置に入力するようにするとよい。そうすれば、取得者識別子に応じてどのコンテンツプロバイダーと契約関係にある人であるか、また、それに応じた適切な課金処理内容などを把握することができるからである。

【0044】（実施形態6 機能ブロック図）図15に示すのは、この実施形態のコンテンツ取得装置1500の機能ブロックを示す図である。この図にあるように、この実施形態のコンテンツ取得装置1500は、コンテンツ受信部1501、課金制御部1503、課金処理部1502、課金処理決定部1504の他に、取得者識別子入力部1505を有する。取得者識別子入力部1505は、コンテンツ取得者を識別する取得者識別子を入力するために用いられる。課金処理決定部1504は、取得者識別子と課金処理種類識別子とを対に管理する課金制御情報管理手段1507と、前記取得者識別子入力部1505から入力した取得者識別子と対になった課金処

理種類識別子を前記課金制御情報管理手段1507から取り出す識別子取得手段1506とを有する。課金制御部1503は前記識別子取得手段1506で取得した課金処理種類識別子が示す課金処理を行うことを前記課金処理部1502に指示する課金処理制御手段を具備する。

【0045】図16に示すのは、課金処理決定部の課金制御情報管理手段で取得者識別子と課金処理種類識別子とを対にして管理している様子を示す概念図である。A会社とコンテンツの配信を受ける契約を結んでいるある特定の人Aは、取得者識別子がID01である。また、電子決済によってコンテンツ取得の対価を支払うある特定の人Bは、どのコンテンツプロバイダーとも契約をしておらず、取得者識別子はID02である。ゴールド会員であるところのある特定の人Cは、すべてのコンテンツプロバイダーとコンテンツの配信について契約をした人Dは、取得者識別子はID03である。コンテンツプロバイダーであるB会社、コンテンツプロバイダーであるC会社とコンテンツの配信について契約をした人Eはそれぞれ、取得者識別子はID04、ID05である。以上に述べたそれぞれの取得者識別子を有する人Aは、課金処理種類識別子が1、2、3、4、5と言う具合に對にして保持されている。

【0046】図15、16を参照しながら処理の流れを簡単見てみると、まず、コンテンツの取得を希望する者は、取得者識別子入力部に自己の取得者識別子「ID01」を入力する。その他のコンテンツ受信のための手続をすると、コンテンツを格納するコンテンツサーバ装置からコンテンツが送出される。送出されたコンテンツは、コンテンツ受信部に受信される。課金処理決定部は、取得者識別子入力部から入力された取得者識別子を渡され、課金制御情報管理手段で取得者識別子と對に管理されている課金処理種類識別子「1」を課金処理決定部の識別子取得手段が取得する。そして、この課金処理種類識別子「1」を課金制御部の課金処理制御手段1508にわたし、この課金処理制御手段1508は、課金処理部に、この課金処理種類識別子「1」で識別される課金処理を行うよう指示を出す。課金処理部では、その識別子で識別される課金処理を行う。例えば、コンテンツプロバイダーA会社の一般会員向けの所定の課金処理である。

【0047】(実施形態6 処理の流れ) 図17に示すのは、この処理の流れを示す図である。まず処理のための入力があるまで待機し(ステップS1701)、入力があると、コンテンツ取得者を識別する取得者識別子と課金処理識別子とを對にして保持する(すてに對して保持されている場合にはこの処理は省略できる。)(ステップS1702)。ついで、取得者識別子を取得する(ステップS1703)。さらに、取得した取得者識別子と對にして保持されている課金処理種類識別子を取得

する(ステップS1704)。さらに、取得した課金処理種類識別子が識別する課金処理を実行し(ステップS1705)、処理を終了する。

【0048】(実施形態7) 次に、コンテンツを格納するコンテンツサーバ装置と、前記コンテンツサーバ装置に格納されているコンテンツを取り出す2以上のコンテンツ取得装置と、前記コンテンツ取得装置から個人認証のための情報である認証情報を受け取り、個人認証を行い、認証結果を前記コンテンツ取得装置に送信する2種以上の認証装置とを有するコンテンツ取得システムについて説明する。

【0049】個人認証とは、ユーザー認証ともいい、コンテンツの取得をする者が真にコンテンツ取得の権限を有する者か、また、コンテンツの取得をしている者が確かに課金処理により集金する者と一致するかなどを確認するための手段である。具体的には、パスワードを利用するもの、カードを用いるもの、指紋、声紋、掌紋、眼底網膜血管像、虹彩紋、顔画像、筆跡、などの生体情報を用いるもの、血液、唾液、体液、DNAなどを用いるもの、健康保険証、運転免許証などを用いるものなど各種の確認方法を利用できる。また、デジタル署名技術を利用することも可能である。デジタル署名技術とは、公開鍵方式を用いるものである。これを用いて送信者本人であることの認証と、送信途中における改ざんの有無を判定できるので便利である。

【0050】図18に示すのは、この発明の全体概念を示す図である。この図にあるように、コンテンツサーバ装置1801と、このコンテンツサーバ装置1801にネットワークなどを介して接続するコンテンツ取得装置(第一コンテンツ取得装置1802、第二コンテンツ取得装置1803、...)と、このコンテンツ取得装置からコンテンツを取得しようとする者の認証を行う認証装置(第一種の認証装置1804、第二種の認証装置1805、...)とからなっている。

【0051】このシステムでは、コンテンツ取得装置からコンテンツを取得しようとするものは、自己の認証のための情報(認証情報)をコンテンツ取得装置に与え、コンテンツ取得装置は、その認証のための情報(認証情報)を認証装置に送り、認証装置は、認証のための情報(認証情報)を用いて認証した結果(認証結果)をコンテンツ取得装置に返し、結果が確かにコンテンツ取得をする権限のある者であると判明した場合には、コンテンツサーバ装置からコンテンツの取得が可能となるとともに、認証された人に対する課金処理などが行われる。

【0052】また、このシステムにおいては、コンテンツ取得装置は複数あり、また認証装置も複数あり、異なるコンテンツ取得装置は、異なる認証装置によって認証処理を行うことが可能となっている。例えば、このコンテンツ取得装置から取得できるコンテンツが複数のコンテンツプロバイダーからのものであり、各コンテンツ

ロバイダーがそれぞれ異なるコンテンツ取得者の認証処理を行うことができる。また、コンテンツプロバイダーとは別個に認証のための認証センターが認証を行うことも考えられ、その場合などでは、複数の認証センターが認証を行うことができ、便利である。

【0053】図18に示すのは、異なるコンテンツ取得装置が異なる認証装置によって認証処理をする場合である。共通のコンテンツサーバ装置1801からコンテンツを取得する、第一コンテンツ取得装置1802と第二コンテンツ取得装置1803とはそれぞれ、第一種の認証装置1804と第二種の認証装置1805によって認証処理を行う。すなわち、コンテンツ取得装置に応じて、第一種の認証装置1804が選択されるのか、第二種の認証装置1805が選択されるのか、が自動的に切替えられる。

【0054】図19に示すのは、コンテンツサーバ装置1901につながれた二以上のコンテンツ取得装置（第一コンテンツ取得装置1902、第二コンテンツ取得装置1903）のうちの一つのコンテンツ取得装置が異なる種類の認証装置によって認証処理をする場合である。第一コンテンツ取得装置1902は、第一種の認証装置1904によっても、第二種の認証装置1905によっても認証処理が可能である。したがって、二人の異なる人に対して、それぞれ異なる認証装置による認証が可能であるのみならず、一人の人に対して異なる認証装置を利用することができ、さらに、取得するコンテンツが一つでも、そのコンテンツを提供するコンテンツプロバイダーが複数の場合には、複数の認証装置によって、そのコンテンツ取得のための認証を行うことが可能となる。いずれの認証装置によって認証処理を行うのか、あるいは両者によって認証処理を行うのかは、コンテンツ取得装置が取得しようとしているコンテンツ、コンテンツ取得装置からコンテンツを取得しようとしている人などによって自動的に決められる。

【0055】図20に示すのは、コンテンツサーバ装置2001につながれた二以上のコンテンツ取得装置（第一コンテンツ取得装置2002、第二コンテンツ取得装置2003）のなかの、一つのコンテンツ取得装置が同じ種類の複数の認証装置（第一種の認証装置2004、2005）によって認証処理をする場合を示す図である。この場合には、二つの認証装置と同じ処理を行っても良いし、二つの認証装置のうちコンテンツ取得時にもっとも適した場所にある認証装置を利用するという使い方もできる。例えば、コンテンツ取得装置がカーナビゲーションシステムの一部である場合には、移動しながらコンテンツを取得するので、同じ種類の認証装置のうち、もっとも近くにある認証装置を利用し、移動しながらの複数回の認証が連続的に必要な場合などには、順次認証装置を切替えてゆくことも可能となる。

【0056】図23に示すのは、認証装置の種類分けと

してどのようなものがあるかを示す一例である。例えば、取得コンテンツに対する課金主体（例えばコンテンツプロバイダーなど）の相違による種類分けや、認証情報の入力ないしは、認証装置に送られる認証情報の相違による種類分け（指紋認証か、パスワード認証か、網膜認証か、など）、認証時間帯による種類分けなどがある。

【0057】このシステムのコンテンツサーバ装置は、図18から20に記載されているように、コンテンツを格納するコンテンツ格納部と、前記増未装置からのコンテンツ取得の要求を示す情報である要求情報を受け付ける要求受付部と、前記要求情報が示す要求に対応するコンテンツを前記コンテンツ格納部から取り出すコンテンツ取得部と、前記コンテンツ取得部が取得したコンテンツを当該要求情報を出した端末装置に送出するコンテンツ送出部とを具備している。

【0058】また、図21のa）、b）にあるように、このシステムのコンテンツ取得装置は、第一のコンテンツ取得装置2101と第二のコンテンツ取得装置2102とを含むが、第一のコンテンツ取得装置2101は、前記コンテンツ送出部が送出したコンテンツを受信するコンテンツ受信部2103と、認証情報を入力する第一の入力部2104と、前記第一の入力部2104で入力された認証情報を前記認証装置に送信する第一の認証情報送信部2106と、前記認証装置からの認証結果を受信する第一の認証結果受信部2105と、前記認証結果を処理する第一の認証結果処理部2111とを具備し、第二のコンテンツ取得装置2102は、前記コンテンツ送出部が送出したコンテンツを受信するコンテンツ受信部2107と、認証情報を入力する第二の入力部2108と、前記第二の入力部2108で入力された認証情報を前記認証装置に送信する第二の認証情報送信部2110と、前記認証装置からの認証結果を受信する第二の認証結果受信部2109と、前記認証結果を処理する第二の認証結果処理部2112とを具備している。

【0059】また、図22のa）、b）にあるように、このシステムの認証装置は、第一種の認証装置2201と第二種の認証装置2202とを含むが、第一種の認証装置2201は、前記第一の認証情報送信部が送信した認証情報を受信する第一の認証情報受信部2203と、前記第一の認証情報受信部2203で受信した認証情報を処理して、認証結果を得る第一の認証結果取得部2204と、前記第一の認証結果取得部2204で取得した認証結果を前記第一のコンテンツ取得装置に送信する第一の認証結果送信部2205とを具備し、第二種の認証装置2202は、前記第二の認証情報送信部が送信した認証情報を受信する第二の認証情報受信部2206と、前記第二の認証情報受信部2206で受信した認証情報を処理して、認証結果を得る第二の認証結果取得部2207と、前記第二の認証結果取得部2207で取得した

認証結果を前記第二のコンテンツ取得装置に送信する第二の認証結果送信部2208とを具備する。

【0060】以上のような構成を採用することで、図18から20に示すような複数の種類のコンテンツ取得装置と複数の種類の認証装置との組み合わせによる、フレキシブルな認証が可能なコンテンツ取得システムを実現することができるとする。

【0061】(実施形態8) 図24に示すのは、実施形態7のコンテンツ取得システムのコンテンツサーバ装置2400を表すものである。この図にあるように、このコンテンツサーバ装置2400は、コンテンツ格納部2401、要求受付部2403、コンテンツ取得部2402、コンテンツ送出部2404とからなる。

【0062】(実施形態9) 次に、コンテンツ取得装置が予め定められた条件に基づいて複数の認証処理の中から行うべき認証処理を決定して、その決定された認証処理をおこなうコンテンツ取得装置について説明する。この実施形態では、コンテンツ取得装置自体が認証処理を行うことができる点、コンテンツ取得装置自体が複数の認証処理のなかから行うべき認証処理を決定する点に特徴がある。

【0063】図25に示すのは、この実施形態のコンテンツ取得装置2500の機能ブロック図である。この図に示すように、このコンテンツ取得装置2500は、コンテンツを格納するコンテンツサーバ装置と、このコンテンツサーバ装置に格納されているコンテンツを取り出すコンテンツ取得装置を有するコンテンツ取得システムを構成するコンテンツ取得装置であって、コンテンツ受信部2501、入力部2502、認証処理部2503、認証処理決定部2505、認証制御部2504とを含む。コンテンツ受信部2501は、前記コンテンツサーバ装置が送出したコンテンツを受信する。入力部2502は認証情報を入力するために用いられる。認証処理部2503は、複数の種類の認証処理を行う。認証処理決定部2505は、予め決められた条件に従って、前記認証処理部2503で行うべき認証処理を決定する。認証制御部2504は、前記入力部2502で入力した認証情報を用いて、前記認証処理決定部2505で決定した認証処理を行うことを前記認証処理部2503に指示する。

【0064】図26は、認証処理の種類としてどのようなものがあるかを示す。パスワード認証、携帯電話認証、デビットカード認証、クレジットカード認証、電子マネー認証(電子マネーに付随して送られる識別子を利用する。)、声紋認証、網膜認証、指紋認証、DNA認証、全国民用IDカード認証などがある。

【0065】図27に示すのは、予め定められた条件の一例を示すものである。例えば、認証情報が携帯電話の識別IDである場合には、該当する電話会社の通話料として課金処理を行うための認証である。これは、電話会

社に対してその携帯電話の識別IDで識別される人をお願い合わせ、その人が確かにコンテンツ取得装置からコンテンツを取得できる権限を有する人か確認し、確認されたらコンテンツの取得を認め、また、その人に対して課金するため、電話会社に対してか金額を通知することなどである。認証情報がクレジットカード番号である場合には、該当するクレジットカード会社に対して本人を特定するための情報の紹介を行って、請求処理するための認証処理であったり、認証情報が声紋認証による情報である場合には、声紋登録された本人の銀行口座から自動引き落としをするために必要な認証処理である。

【0066】(実施形態9 処理の流れ) 図28に示すのは、この実施形態9の処理の流れを示す図である。まず、処理のための入力があるまで待機(ステップS2801)、入力があると、複数の種類の認証処理を準備し(すなわち、準備されている場合には、この処理を省略することができる。)(ステップS2802)、ついで、認証情報を取得し(ステップS2803)、認証情報に基づいて予め定められた条件に従って、認証処理を決定し(ステップS2804)、決定した認証処理を実行して(ステップS2805)、処理を終了する。

【0067】(実施形態9 記録媒体) なお、このような処理を行わせるのはコンテンツ取得装置であるが、パーソナルコンピュータに上記手順を実行させるためのプログラムを読取可能に記録した記録媒体を用いると便利である。

【0068】

【発明の効果】本発明により、コンテンツの提供とビジネスルールである課金処理とは、完全に分離できるので、複数の課金処理体系を利用するサービスの多様化が容易、且つ効率的となる。従って、多数のコンテンツプロバイダーが提供するコンテンツを要求に応じて提供するビデオオンデマンドないしは、さらに文字情報、音声情報、動画情報、データなどを複合的、かつ混合して提供するサービスなどの課金処理が容易となるばかりでなく、コンテンツプロバイダーがコンテンツの提供に際してビジネスルールを選択する必要がなくなる。

【0069】また、課金処理自体を、複数の端末ないしは、複数の課金センターにて可能としたので、多数の営業主体が同一のコンテンツ配信、取得システム上で別個に異なる種類の課金処理を行うことが可能となった。

【図面の簡単な説明】

【図1】実施形態1の概念を示す図

【図2】実施形態1のコンテンツ取得システムの機能ブロック図

【図3】実施形態1の処理の流れを示す図

【図4】実施形態2のコンテンツサーバ装置の機能ブロック図

【図5】実施形態3のコンテンツ取得装置の機能ブロック図

【図6】実施形態4のコンテンツ取得装置の機能ブロック図

【図7】実施形態5のコンテンツ取得装置の課金処理決定部の機能ブロック図

【図8】属性情報の一例を示す図

【図9】課金処理の一例を示す図

【図10】実施形態4の処理の流れを示す図

【図11】実施形態5のコンテンツ取得装置の機能ブロック図を示す図

【図12】コンテンツ取得手段と取得手段識別子の関係の一例を示す図

【図13】課金制御情報管理手段が取得手段識別子と課金処理種類識別子とを管理する様子を示す図

【図14】実施形態5の処理の流れを示す図

【図15】実施形態6のコンテンツ取得手段の機能ブロック図を示す図

【図16】実施形態6のコンテンツ取得手段の課金制御情報管理手段の機能の一例を示す図

【図17】実施形態6の処理の流れを示す図

【図18】実施形態7のコンテンツ取得システムの機能ブロック図

【図19】実施形態7のコンテンツ取得システムの機能ブロック図

【図20】実施形態7のコンテンツ取得システムの機能ブロック図

【図21】実施形態7のコンテンツ取得装置の機能ブロック図を示す図

【図22】実施形態7の認証装置の機能ブロック図を示す図

【図23】実施形態7の認証装置の種類の一例を示す図

【図24】実施形態8のコンテンツサーバ装置の機能ブロック図を示す図

【図25】実施形態9のコンテンツ取得装置の機能ブロック図を示す図

【図26】実施形態9の認証処理の種類の一例を示す図

【図27】実施形態9の予め定められた条件の一例を示す図

【図28】実施形態9の処理の流れを示す図

【図29】実施形態10の処理の流れを示す図

【符号の説明】

0101 コンテンツサーバ装置

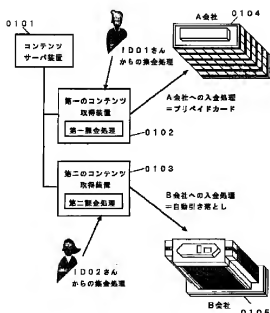
0102 第一のコンテンツ取得装置

0103 第二のコンテンツ取得装置

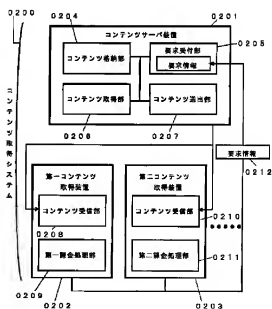
0104 A会社

0105 B会社

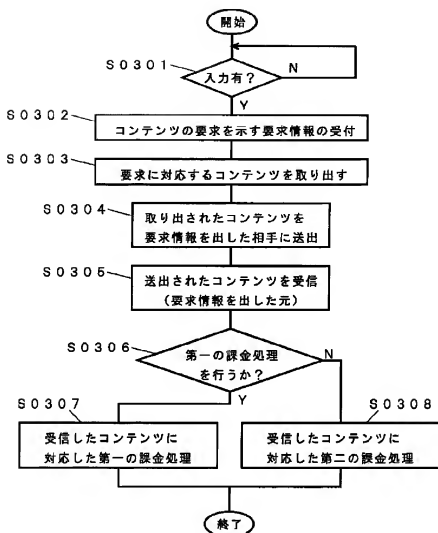
【図1】



【図2】



【図3】



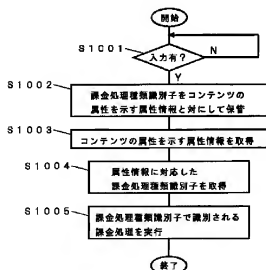
【図8】

属性情報	
データの種別	テキスト
	静止画
	音声
	動画
	数値データ
データの大きさ	～1MB
	～10MB
	～100MB
	～1GB
	1GB～
作成者	ATV
	BTB
	C News
	Eリサーチ

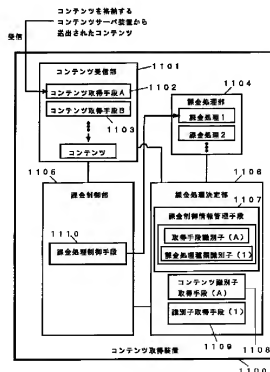
【図9】

課金処理の具体例	
課金処理種類識別子	課金処理
1	A会社に登録されたコンテンツ取得者の銀行口座番号を取得し、その口座の残高を照会し、残高が課金額より多い場合は、課金額をその口座からA会社の口座に移すことを銀行に指示する。
2	コンテンツ取得装置に導入されたデビットカードのIDを読み取り、そのIDで特定される銀行口座からの引き落とし処理を行う。
3	無料であり、課金額を0円とする処理のために必要な処理
4	B会社に登録されたコンテンツ取得者の電子マネーを用いた処理
5	C会社に登録されたコンテンツ取得者のクレジットカード番号を取得し、そのクレジットカード会社に対して、課金額の支払いを要求する。

【図10】



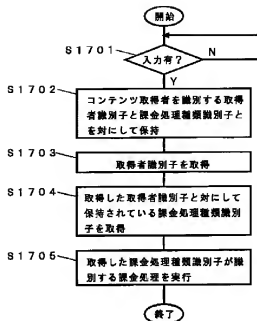
【図11】



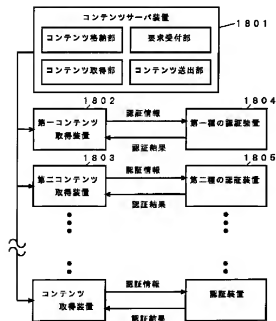
【図16】

課金制御情報管理手段	
取得者識別子	課金処理種類識別子
I D 01 (A社一般会員)	1
I D 02 (電子決済会員)	2
I D 03 (ゴールド会員)	3
I D 04 (B社一般会員)	4
I D 05 (C社一般会員)	5

【図17】

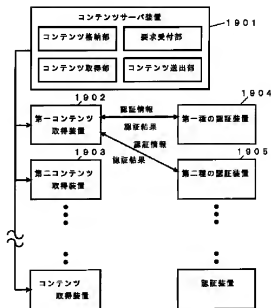


【図18】



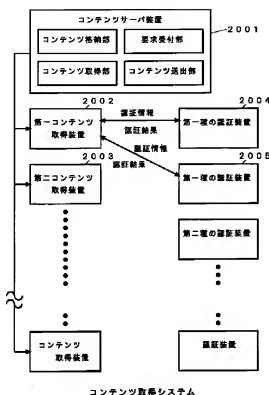
コンテンツ取得システム

【図19】

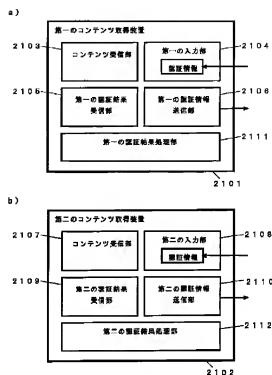


コンテンツ取得システム

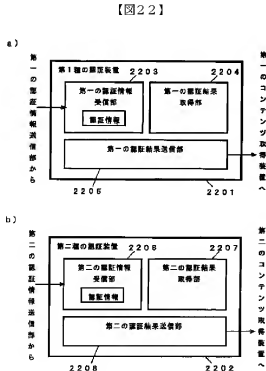
【図20】



【図21】



【図22】



認証情報の種類分け

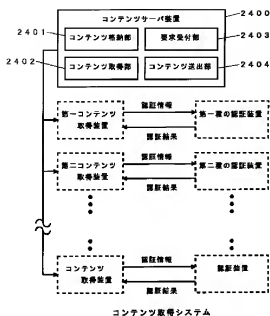
取得コンテンツに対する課金主体の相違による種類分け	
具体例	第一種の認証装置→A社支配 第二種の認証装置→B社支配
認証情報の入力ないしは、認証結果に決める認証情報の相違による種類分け	
具体例	第一種の認証装置→指紋認証 第二種の認証装置→パスワード認証 第三種の認証装置→顔認証
認証結果等による種類分け	
具体例	第一種の認証装置(アメリカNY設置)→日本国境 第二種の認証装置(日本東京設置)→日本国境

【図27】

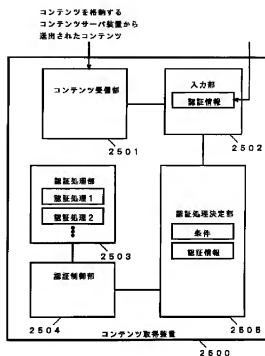
予め定められた条件

認証情報	認証処理
携帯電話の識別ID	該当する電話会社の通話料として課金処理用
クレジットカード番号	該当するクレジットカード会社に対して課金処理用
声紋認証	声紋登録された自然人の銀行口座から自動引き落とし用

【図24】



【図25】

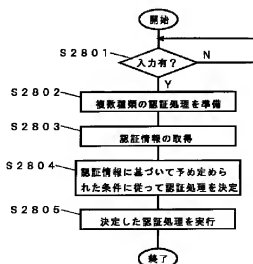


【図26】

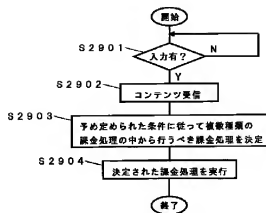
認証処理の種類

パスワード認証
携帯電話認証
デビットカード認証
クレジットカード認証
電子マネー認証
声紋認証
網膜認証
指紋認証
DNA認証
全国民用IDカード認証

【図28】



【図29】



フロントページの続き

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	7-コード [*] (参考)
H 0 4 N	7/16	H 0 4 N	C
	7/173		6 4 0 Z

Fターム(参考) 5B017 AA03 BA09 BB09 CA16
 5B049 AA05 BB00 BB46 CC05 CC08
 CC21 CC36 CC39 DD00 EE01
 EE07 FF03 FF04 FF06 GG04
 GG07
 5B055 BB20 CB09 CB10 CC10 EE02
 EE21 EE27 HA04 HB02 HB03
 KK01 KK05 KK07 KK09
 5C064 BA01 BA07 BB01 BC18 BD02